

校長室だより

令和5年(2023年)
3月6日発行(No.32)
柏原市立 堅上小学校
校長 小森 美智代

「いのちの誕生」

助産師 村島 和代 先生
松村 真帆子先生
山本 真由 先生



赤ちゃんは、産まれてくる
ときに、誰にも教えてもら
わないのに、くるりと回転
しながら、頭の骨を縮めな
がら出てくるそうです。



実際の大きさや重さ
の赤ちゃんの人形を
抱っこしてみました。
首がぐらぐらして、
みんな緊張でした。

子宮、へそのお、胎盤など5年生の皆さんは、勉強したことを
しっかりと覚えていて、真剣に話を聞いてくれているので、と
ても嬉しかったですとおっしゃっていました。



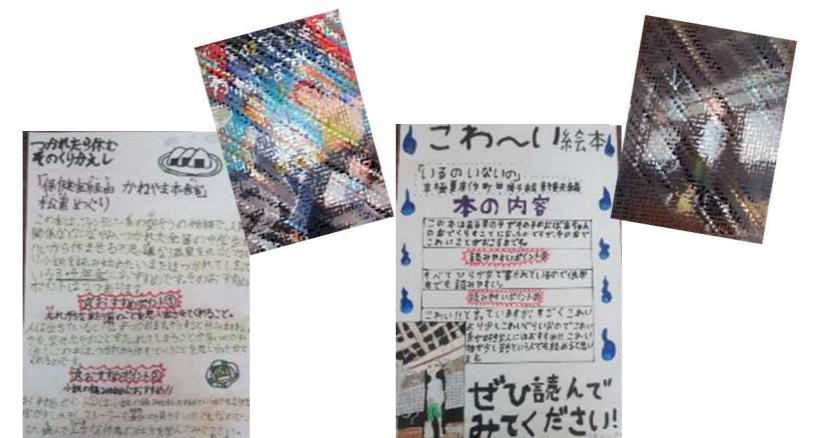
2月27日(月)3時間めに、性教育講演会が行われました。講師の先生は、助産師の村島先生、松村先生、山本先生です。お話を聞かせていただいたのは、5年生です。子どもたちが持っている理科や保健の授業で得た知識だけでなく、小さな命が10か月という時間を越えて誕生することは、奇跡に近い感動的なことだとお話して下さいました。助産師のお仕事の様子をビデオで見せてもらったあと、赤ちゃんの心音を聴くための道具(ドップラー)で、実際の心音を聴きました。針の穴ほどの小さな受精卵がお母さんの子宮の中で大きくなる様子も順番に確認をしました。そして、産まれた赤ちゃんのお人形を順番に抱いてみました。小さい、かわいい、結構重い、首がぐらぐらしているといろんな感想を言い合いながら順番にだっこしました。一つの命には、過去にさかのぼると多くの命からリレーされてきたことを学び、自分の命も、他の人の命も大切に、そして守りつなげていかなければならないことを学びました。途中少し休憩をはさみましたが、しっかりと話を聞いている姿にも、感動しました。

3年ぶり「ブックトーク」国分図書館より

2月24日(金)に、3年ぶりに「ブックトーク」を実施しました。「ブックトーク」とは、読み聞かせと違い、国分図書館の司書の先生がおすすめの本を、読みたくなるように紹介して下さいます。それぞれの学年のテーマ「からだのふしぎ」「いるの?いないの?」「家」を設定し9冊ずつ紹介して下さいました。どの本も、表紙や題名など読んでみたくなるものばかりで、司書の先生が本の内容を教えて下さるのですが、続きが知りたくなる絶妙のところ、後は読んでのお楽しみと本を閉じてしまわれます。「えっ!いいとこやったのに。」「アカン!めっちゃ読みたい。」と声があがりました。3月いっぱい本を借りています。ぜひ、続きを読んで、また誰かにおすすめしましょう。



新しい本との出会い。続きを読みたい!



ちょうど、5年生が低学年に向けておすすめの本の紹介コーナーを廊下に作ってくれていました。本の内容をまとめたキャッチフレーズと、おすすめポイントがイラストと一緒に書いてあるポスターと本がセットされています。どれも読んでみたくなります。ちなみに、「どこ、いったん」を読みました。おすすめのとおり、身近な関西弁で、プツと笑える楽しいお話でした。

5年生 おすすめの本紹介コーナー 読書を楽しもう!